



2026年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年10月30日

東

上場会社名 住友重機械工業株式会社

上場取引所

コード番号 6302

URL <https://www.shi.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 渡部 敏朗

問合せ先責任者(役職名) コーポレート・コミュニケーション部長(氏名) 中西 敦 (TEL) 03-6737-2332

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・マスコミ向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2026年12月期第3四半期の連結業績(2026年1月1日～2026年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年12月期第3四半期	834,233	10.8	54,979	58.2	50,939	68.8	28,542	43.4
2025年12月期第3四半期	753,211	△2.4	34,747	△15.4	30,186	—	19,900	△18.1

(注) 包括利益 2026年12月期第3四半期 30,922百万円(287.8%) 2025年12月期第3四半期 7,974百万円(△73.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第3四半期	239.41	—
2025年12月期第3四半期	165.58	—

(注) 2026年12月期第3四半期連結累計期間より表示方法の変更を行ったため、2025年12月期第3四半期の経常利益については、表示方法の変更を反映させた組替え後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。詳細については、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(表示方法の変更の注記)」をご参照ください。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年12月期第3四半期	1,304,509	692,199	52.7
2025年12月期	1,320,527	686,223	51.6

(参考) 自己資本 2026年12月期第3四半期 687,631百万円 2025年12月期 681,666百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	60.00	—	65.00	125.00
2026年12月期	—	70.00	—	—	—
2026年12月期(予想)	—	—	—	75.00	145.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日～2026年12月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	1,120,000	5.0	68,000	32.1	62,000	35.0	35,000	13.1

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 2 2026年12月期第3四半期連結累計期間より表示方法の変更を行ったため、経常利益の対前期増減率については、当該表示方法の変更を反映した組替え後の数値を用いて算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 一社、除外 1 社 (社名) 新日本造機株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年12月期 3 Q	122,905,481株	2025年12月期	122,905,481株
② 期末自己株式数	2026年12月期 3 Q	4,386,129株	2025年12月期	2,724,082株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年12月期 3 Q	119,218,899株	2025年12月期 3 Q	120,183,543株

※期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式には、取締役等への株式報酬制度のために設定した株式交付信託に係る信託口が保有する当社株式を含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(表示方法の変更の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(重要な後発事象の注記)	10
3. 補足情報	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期における当社グループを取り巻く経営環境は、国内の設備投資、輸出が底堅く推移、海外においては、米国では景気が堅調に推移、欧州は緩やかな回復が見られ、中国でも景気の低迷が続く中で一定の需要の増加が見られました。また、AI半導体・データセンタ関連での需要が増加傾向の他、大型の案件にも増加が見られました。

このような経営環境のもと、当社グループは「中期経営計画2026」に基づき、製品・サービスによる社会課題解決を通じて持続的に企業価値を拡大することをめざし、強靱な事業体の構築へ向け、収益力改善、資本効率向上、新事業探索の強化を遂行するとともに、SDGsへの貢献拡大及び環境負荷低減への取組み強化などの施策を推進してまいりました。

この結果、当社グループの受注高は9,149億円(前年同期比16%増)、売上高は8,342億円(前年同期比11%増)となりました。損益面につきましては、営業利益は550億円(前年同期比58%増)、経常利益は509億円(前年同期比69%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は285億円(前年同期比43%増)となりました。

各セグメント別の状況は、以下のとおりであります。

なお、2026年7月1日、当社は産業用クレーンの受注機会最大化を目的として組織変更を行いました。これに伴い、エネルギー&ライフラインセグメントの住友重機械プロセス機器(株)についてロジスティックス&コンストラクションセグメントへの組替を実施しております。このため、「3 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」の前第3四半期連結累計期間の数値につきましては、組替え後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。

① メカトロニクス

減・変速機は国内、海外とも需要が堅調に推移、モータ・インバータは欧州顧客の需要が増加、極低温冷凍機も米国・中国で半導体関連の需要が増加し、それぞれ受注が増加しました。受注の増加に伴い、売上、営業利益も増加しました。

この結果、受注高は2,511億円(前年同期比25%増)、売上高は2,265億円(前年同期比14%増)、営業利益は206億円(前年同期比47%増)となりました。

② インダストリアル マシナリー

受注は顧客の設備投資の回復に伴い主に半導体製造装置において増加、売上は半導体製造装置の受注の増加に加え、プラスチック加工機械の受注残があったことから増加しました。売上の増加に加え、プラスチック加工機械での採算の改善、及び欧州での構造改革の効果があり、営業利益は増加しました。

この結果、受注高は1,691億円(前年同期比2%増)、売上高は1,617億円(前年同期比9%増)、営業利益は67億円となりました。

③ ロジスティックス&コンストラクション

運搬荷役機械は前年に一定の受注を確保した反動があり受注が減少しましたが、油圧ショベルは北米、欧州向けの需要が増加、建設用クレーンも北米での需要が堅調に推移し、全体で受注は増加しました。受注の増加に伴い、売上、営業利益も増加しました。

この結果、受注高は3,251億円(前年同期比13%増)、売上高は3,205億円(前年同期比14%増)、営業利益は183億円(前年同期比33%増)となりました。

④ エネルギー&ライフライン

水処理装置、海洋構造物で複数の大物案件の受注があったことにより、受注は増加しました。売上と営業利益は水処理装置で増加するも、蒸気タービン事業の譲渡の影響があり、前年同期並みとなりました。

この結果、受注高は1,645億円(前年同期比27%増)、売上高は前年同期並みの1,208億円、営業利益は77億円(前年同期比1%減)となりました。

⑤ その他

受注高は51億円(前年同期比5%増)、売上高は48億円(前年同期比1%増)、営業利益は16億円(前年同期比4%減)となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末(2026年9月30日)における総資産は、前連結会計年度末と比べて現金及び預金が92億円、棚卸資産が31億円それぞれ増加した一方、受取手形、売掛金及び契約資産が260億円減少したことなどにより、前連結会計年度末比160億円減の1兆3,045億円となりました。

負債合計は、有利子負債が81億円増加した一方、支払手形及び買掛金が311億円減少したことなどにより、前連結会計年度末比220億円減の6,123億円となりました。

純資産は、利益剰余金が125億円、自己株式が88億円それぞれ増加したことなどにより、前連結会計年度末比60億円増の6,922億円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末比1.1ポイント増の52.7%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ99億円増加し、1,176億円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、567億円の資金の増加となり、前年同期に比べて121億円の増加となりました。これは、税金等調整前四半期純利益の増加及び棚卸資産の増加幅が縮小したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、297億円の資金の減少となり、前年同期に比べて124億円支出の減少となりました。これは、有形及び無形固定資産の取得による支出が減少したこと、前期に連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出があったこと及び当期に連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入があったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、178億円の資金の減少となり、前年同期に比べて138億円の支出の増加となりました。これは、有利子負債の増加幅が縮小したこと及び自己株式の取得による支出が増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年8月4日の決算短信で公表した2026年12月期の連結業績予想につきましては、修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	111,072	120,304
受取手形、売掛金及び契約資産	313,661	287,655
棚卸資産	328,776	331,835
その他	35,462	34,623
貸倒引当金	△2,188	△2,306
流動資産合計	786,782	772,111
固定資産		
有形固定資産		
土地	112,606	112,404
その他（純額）	260,631	261,678
有形固定資産合計	373,237	374,083
無形固定資産		
のれん	11,045	8,289
その他	22,037	23,566
無形固定資産合計	33,083	31,855
投資その他の資産		
その他	132,661	131,884
貸倒引当金	△5,236	△5,424
投資その他の資産合計	127,425	126,460
固定資産合計	533,745	532,398
資産合計	1,320,527	1,304,509
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	146,422	115,308
短期借入金	88,882	73,440
1年内返済予定の長期借入金	8,457	22,601
コマーシャル・ペーパー	23,000	35,000
未払法人税等	7,833	6,765
賞与引当金	9,135	16,638
保証工事引当金	12,583	12,093
その他の引当金	2,252	4,544
その他	110,952	106,367
流動負債合計	409,516	392,757
固定負債		
社債	60,000	60,000
長期借入金	72,364	69,807
退職給付に係る負債	34,709	33,218
再評価に係る繰延税金負債	20,854	20,854
その他の引当金	51	51
その他	36,811	35,624
固定負債合計	224,788	219,553
負債合計	634,304	612,310

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,872	30,872
資本剰余金	24,060	24,060
利益剰余金	444,590	457,094
自己株式	△11,146	△19,950
株主資本合計	488,376	492,075
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,011	10,526
繰延ヘッジ損益	△591	△60
土地再評価差額金	39,392	39,392
為替換算調整勘定	104,338	107,608
退職給付に係る調整累計額	41,139	38,089
その他の包括利益累計額合計	193,290	195,555
非支配株主持分	4,557	4,568
純資産合計	686,223	692,199
負債純資産合計	1,320,527	1,304,509

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年9月30日)
売上高	753,211	834,233
売上原価	567,644	619,932
売上総利益	185,566	214,300
販売費及び一般管理費	150,819	159,322
営業利益	34,747	54,979
営業外収益		
受取利息	1,088	1,118
受取配当金	1,113	2,758
その他	2,479	3,825
営業外収益合計	4,680	7,702
営業外費用		
支払利息	2,696	3,322
為替差損	2,047	3,380
特許関係費用	1,022	1,149
その他	3,475	3,889
営業外費用合計	9,241	11,741
経常利益	30,186	50,939
特別利益		
投資有価証券売却益	1,349	2,246
特別利益合計	1,349	2,246
特別損失		
事業構造改革費用	431	5,504
関係会社株式売却損	—	3,996
減損損失	655	676
特別損失合計	1,086	10,176
税金等調整前四半期純利益	30,449	43,010
法人税等	10,259	14,374
四半期純利益	20,190	28,636
非支配株主に帰属する四半期純利益	290	94
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,900	28,542

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年9月30日)
四半期純利益	20,190	28,636
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△93	1,516
繰延ヘッジ損益	753	531
土地再評価差額金	△596	—
為替換算調整勘定	△10,372	3,287
退職給付に係る調整額	△1,905	△3,033
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	△15
その他の包括利益合計	△12,216	2,286
四半期包括利益	7,974	30,922
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,695	30,808
非支配株主に係る四半期包括利益	279	114

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	30,449	43,010
減価償却費	28,273	30,769
減損損失	655	676
事業構造改革費用	431	5,504
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	3,996
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,349	△2,246
受取利息及び受取配当金	△2,201	△3,876
支払利息	2,696	3,322
引当金の増減額 (△は減少)	7,468	10,350
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	32,007	28,614
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△21,194	△9,543
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,535	△28,301
その他	△12,854	△15,405
小計	58,846	66,870
利息及び配当金の受取額	2,144	3,959
利息の支払額	△2,515	△3,059
法人税等の支払額	△13,839	△11,064
営業活動によるキャッシュ・フロー	44,635	56,707
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△41,343	△39,128
有形及び無形固定資産の売却による収入	1,518	516
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△3,047	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	5,988
関係会社株式の取得による支出	△161	△48
投資有価証券の取得による支出	△425	△529
投資有価証券の売却による収入	1,742	2,526
短期貸付金の増減額 (△は増加)	18	△101
貸付けによる支出	△8,361	△6,859
貸付金の回収による収入	7,948	7,086
その他	△35	845
投資活動によるキャッシュ・フロー	△42,146	△29,702
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△7,597	△13,927
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	18,000	12,000
長期借入れによる収入	7,610	14,204
長期借入金の返済による支出	△4,226	△2,657
社債の発行による収入	20,000	—
社債の償還による支出	△20,000	—
配当金の支払額	△14,984	△16,106
非支配株主への配当金の支払額	△255	△102
自己株式の取得による支出	△266	△8,915
その他	△2,301	△2,332
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,018	△17,835
現金及び現金同等物に係る換算差額	△803	185
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,333	9,354
現金及び現金同等物の期首残高	107,542	107,622
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	595
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	243	—
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△135	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	105,317	117,571

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(表示方法の変更の注記)

(連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間において「営業外収益」に含めておりました「投資有価証券売却益」は、金額的重要性が増したため、当第3四半期連結累計期間より、「特別利益」の区分において表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の連結損益計算書において、「営業外収益」の区分に表示していた「投資有価証券売却益」1,349百万円は、「特別利益」の「投資有価証券売却益」1,349百万円として組み替えており、「経常利益」は30,186百万円、「特別利益」は1,349百万円となっております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2026年2月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,692,200株の取得を行いました。この結果、単元未満株式の買取による変動なども含め、当第3四半期連結累計期間において自己株式が8,804百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が19,950百万円となっております。

なお、当第3四半期連結会計期間末における自己株式には、取締役等への株式報酬制度のために設定した株式交付信託に係る信託口が保有する当社株式を含めております。

(セグメント情報等の注記)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社及び各連結子会社別に、取り扱う製品・サービスにつきまして国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。従って、本社及び各連結子会社の製品・サービス別のセグメントから構成されており、「メカトロニクス」、「インダストリアル マシナリー」、「ロジスティックス&コンストラクション」、「エネルギー&ライフライン」の4つを報告セグメントとしております。

事業区分	主要製品
メカトロニクス	減・変速機、モータ、インバータ、極低温冷凍機、精密位置決め装置
インダストリアル マシナリー	プラスチック加工機械、フィルム加工機械、精密鍛造品、半導体製造装置、加速器、医療機械器具、鍛造プレス、空調設備、防衛装備品
ロジスティックス& コンストラクション	油圧ショベル、建設用クレーン、道路機械、運搬荷役機械、物流システム、駐車場システム、攪拌槽
エネルギー& ライフライン	発電設備（ボイラ等）、大気汚染防止装置、水処理装置、タービン（2026年7月譲渡）、ポンプ（2026年7月譲渡）、食品製造機械、船舶、海洋構造物

2 報告セグメントの変更等に関する事項

2026年7月1日、当社は産業用クレーンの受注機会最大化を目的として組織変更を行いました。これに伴い、エネルギー&ライフラインセグメントの住友重機械プロセス機器(株)についてロジスティックス&コンストラクションセグメントへの組替を実施しております。このため、「3 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」の前第3四半期連結累計期間の数値につきましては、組替え後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。

3 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	メカトロ ニクス	インダストリアル マシナリー	ロジスティックス & コンストラクション	エネルギー & ライフライン	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	198,260	148,612	281,180	120,382	748,434	4,777	753,211	—	753,211
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,663	864	325	1,925	4,778	2,512	7,290	△7,290	—
計	199,924	149,477	281,504	122,307	753,212	7,289	760,501	△7,290	753,211
セグメント利益又 は損失(△)	14,022	△2,490	13,697	7,826	33,056	1,680	34,735	12	34,747

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、ソフトウェア関連事業、及びその他の事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額12百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	メカトロ ニクス	インダストリアル マシナリー	ロジスティックス & コンストラクション	エネルギー & ライフライン	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	226,465	161,670	320,495	120,762	829,391	4,842	834,233	—	834,233
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,906	1,104	56	378	3,443	2,441	5,884	△5,884	—
計	228,370	162,773	320,551	121,140	832,834	7,283	840,117	△5,884	834,233
セグメント利益	20,642	6,723	18,284	7,712	53,360	1,608	54,969	10	54,979

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、ソフトウェア関連事業、及びその他の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額10百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(セグメント別受注高・売上高・受注残高)

「1. 経営成績等の概況 (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況」に記載のとおり、セグメント間の事業の組替えを実施しております。このため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度の数値につきましては、組替え後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。

① 受注高

(単位：百万円)

セグメント	前第3四半期連結累計期間 (2025/1～2025/9)	当第3四半期連結累計期間 (2026/1～2026/9)	増 減	
	金 額	金 額	金 額	比(%)
メカトロニクス	200,898	251,131	50,233	25.0
インダストリアル マシナリー	166,081	169,056	2,974	1.8
ロジスティックス& コンストラクション	288,113	325,116	37,003	12.8
エネルギー& ライフライン	129,742	164,540	34,798	26.8
その他	4,842	5,094	252	5.2
合 計	789,676	914,937	125,261	15.9

② 売上高

(単位：百万円)

セグメント	前第3四半期連結累計期間 (2025/1～2025/9)	当第3四半期連結累計期間 (2026/1～2026/9)	増 減	
	金 額	金 額	金 額	比(%)
メカトロニクス	198,260	226,465	28,205	14.2
インダストリアル マシナリー	148,612	161,670	13,057	8.8
ロジスティックス& コンストラクション	281,180	320,495	39,315	14.0
エネルギー& ライフライン	120,382	120,762	380	0.3
その他	4,777	4,842	65	1.4
合 計	753,211	834,233	81,022	10.8

③ 受注残高

(単位：百万円)

セグメント	前連結会計年度 (2025.12.31)	当第3四半期連結会計期間 (2026.9.30)	増 減	
	金 額	金 額	金 額	比(%)
メカトロニクス	99,450	124,116	24,666	24.8
インダストリアル マシナリー	148,815	156,201	7,386	5.0
ロジスティックス& コンストラクション	235,312	239,934	4,621	2.0
エネルギー& ライフライン	246,928	270,485	23,557	9.5
その他	1,664	1,917	253	15.2
合 計	732,169	792,652	60,483	8.3